

エアアジアXの収益性概観

アジアにおける長距離 LCC の雄とされているエアアジア X について、その決算資料等から収益性を概観してみた。(1リンギット=31円で日本円に換算)

1. 収支概観

- ① 2013年度(12月決算)の営業収入は2307百万リンギット(715億円)。
うち旅客収入は2110百万リンギット(654億円)、
これには燃油サーチャージや付加収入を含んでおり、
内訳は；純運賃67%、燃油サーチャージ12%、付加収入21%である。
- ② 営業費用は2272百万リンギット(704億円)。
うち燃油費が1098百万リンギット(340億円)と、約半分を占めている。
- ③ 営業利益は36百万リンギット(11億円)。
これに金融収支とや為替差額を加除した経常損益は▲213百万リンギット(▲66億円)
2013年は為替差損が大きく影響した。
これに税金要素(繰延税金の戻り?)を加除した当期損益は▲87百万リンギット。

【図表1】エアアジアXの収支推移

	2010	2011	2012	2013	(2013)
	百万リンギット	百万リンギット	百万リンギット	百万リンギット	億円
運賃収入(含燃油S/C)	988	1,454	1,430	1,658	514
付加収入	238	307	364	452	140
(旅客収入計)	1,225	1,761	1,794	2,110	654
その他収入	64	101	173	197	61
営業収入合計	1,289	1,862	1,967	2,307	715
燃油費	598	1,018	925	1,098	340
その他営業費用	684	904	993	1,174	364
営業費用合計	1,282	1,922	1,918	2,272	704
営業利益	7	-60	49	36	11
金融収支	-53	-46	-55	-72	-22
為替差額	144	-25	44	-176	-55
経常利益	98	-131	38	-213	-66
税金要素	49	35	-4	126	39
当期損益	147	-97	34	-87	-27

2. 収益性指標

- ① 機材は16機（2013年12月末）、平均稼働時間は約16時間（2012年ベース）。
- ② 旅客数は3161千人（前年比+22%増）で、搭乗率は81.9%。
- ③ 2013年度の旅客単価（発着）は667リンギット（20,691円）。
内訳をみると、準運賃444リンギット（13,773円）、燃油サーチャージ80リンギット（2,489円）
付加収入143リンギット（4,429円）である。
- ④ 座席コスト（発着）は537リンギット（16,658円）。
うち燃油費が284リンギット（8,816円）
- ⑤ 営業損益トントンとなるB/Eは80.5%で、搭乗率（81.9%）がこれより上回る
分（1.4ポイント）が利益（36百万リンギット）となっている。
- ⑥ 平均距離が5,000kmと長いので、これをキロメートルあたりでみると、
旅客キロ単価が13.31セ（4.13円）、座席キロコストが10.74セ（3.33円）となる。

【図表2】エアアジアXの収益性指標推移

		2010	2011	2012	2013	(2013)
機数(期末)	機	11	11	9	16	
平均稼働時間/日	hrs	15.7	15.8	16.2		
旅客数	千人	1,921	2,526	2,581	3,161	
座席数	千席	2,504	3,160	3,073	3,860	
搭乗率(発着)	%	76.7	79.9	84.0	81.9	
B/E(発着)	%	76.3	82.7	81.7	80.5	
旅客単価 運賃収入	リンギット	514	576	554	525	16,263
付加収入	リンギット	124	122	141	143	4,429
旅客単価	リンギット	638	697	695	667	20,691
座席コスト 燃油費	リンギット	239	322	301	284	8,816
他の費用	リンギット	273	286	323	304	9,427
▲収入控除	リンギット	-25	-32	-56	-51	-1,585
座席コスト	リンギット	486	576	568	537	16,658
平均距離	km	5,400	5,600	5,300	5,000	
旅客単価 運賃収入	セ	9.51	10.28	10.51	10.46	3.24
付加収入	セ	2.29	2.17	2.68	2.85	0.88
旅客単価(キロ)	セ	11.80	12.45	13.19	13.31	4.13
座席コスト 燃油費	セ	4.40	5.77	5.70	5.69	1.76
他の費用	セ	5.04	5.12	6.12	6.08	1.88
▲収入控除	セ	-0.47	-0.57	-1.07	-1.02	-0.32
座席コスト(キロ)	セ	8.97	10.32	10.75	10.74	3.33

3. 収入と経常損益の内訳

- ① 収入の路線別（方面別）内訳をみると、
 北アジアが1,147百万リンギット（356億円）で、50%を占める。
 オーストラリアが903百万リンギット（280億円）で39%。
 その他が、欧州線からの撤退等で前年より大幅減となり257百万リンギット（80億円）。
- ② 経常損益（総額▲213百万リンギット＝▲66億円）を路線別にみると、為替差損の影響で、全路線が赤字になっている。
 北アジアが▲80百万リンギット（▲25億円）で損失率が▲7%、
 オーストラリアが▲117リンギット（▲36億円）で損失率が▲13%。

【図表3】エアアジアXの路線別収支

		2012	2013	(2013)
		百万リンギット	百万リンギット	億円
収入内訳	北アジア	878	1,147	356
	オーストラリア	756	903	280
	その他	333	257	80
	収入計	1,967	2,307	715
		百万リンギット	百万リンギット	億円
経常利益 内訳	北アジア	33	-80	-25
	オーストラリア	46	-117	-36
	その他	-41	-16	-5
	経常利益	38	-213	-66

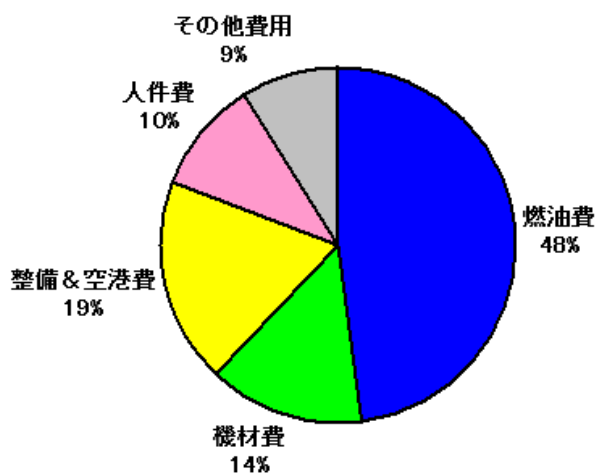
4. 営業費用の内訳

2013年度の営業費用の構成割合は下図のとおりである。

燃油費、機材費で62%を占め、これに整備&空港費を加えると81%となる。

人件費は10%。

【右図表4】エアアジアXの
営業費用の内訳



5. 財務状況概観

2013年度の貸借対照表の内訳は下表のとおりである。

- ① 資産は3,994百万リンギット(1,238億円)だが、固定資産(航空機等)と機材前払金で2,895百万リンギット(898億円)と72%を占めている。
- ② 有利子負債が前年より大幅に増えて1,996百万リンギット(619億円)。総資本に占めるその比率は50%である。
- ③ 純資産は1,237百万リンギット(384億円)で、自己資本比率は31%。
- ④ 有利子負債は、その殆どが米ドル建てである。また短期負債(借換え方式?)が24%を占めている。

【図表5】エアアジアXの財務状況

	2012	2013	(2013)
	百万リンギット	百万リンギット	億円
現預金	174	265	82
営業未収入金	131	216	67
有形固定資産	1,326	2,257	700
機材前払金	418	638	198
繰延税金資産	235	362	112
その他の資産	144	256	79
資産合計	2,428	3,994	1,238
有利子負債	1,392	1,996	619
その他の負債	455	761	236
負債合計	1,847	2,757	855
資本金等	482	1,205	374
利益剰余金	98	11	4
その他	-0	21	7
純資産合計	581	1,237	384

〈有利子負債の内訳〉

	2012	2013	(2013)
	百万リンギット	百万リンギット	億円
リンギット負債	309	40	12
米ドル負債	1,083	1,956	606
短期負債	521	486	151
長期負債	871	1,510	468

以上